

2011年5月2日

福島県公表の「下水汚泥からの高濃度放射性物質検出」に関して

太平洋セメント株式会社

標記の件、福島県が昨日（5月1日）、県中浄化センター（郡山市）で処理した下水汚泥から高濃度の放射性物質が検出されたと公表した件につき、以下の通りお知らせいたします。

弊社は県中浄化センターからの下水汚泥は受け入れておりません。

弊社は、同県内の県北浄化センター（国見町）から、埼玉県内所在の熊谷工場（熊谷市）と埼玉工場（日高市）において下水汚泥を受け入れておりますが、福島県からの連絡によれば、同浄化センターは雨水の混入の無い分流式で浄水処理をしており、放射能物質の混入は考え難いとのことです。但し、県北浄化センターにおいても、念のため放射能の検査・分析中とのことです。分析結果が判明するまでの間、受け入れを中止いたします。

なお、弊社の輸出品は大分県所在の大分工場（津久見市）、北海道所在の上磯工場（北斗市）から出荷しておりますが、いずれも福島原発の影響を受ける地域の下水汚泥は使用しておりません。

以上